

支部だより

— 令和4年度 第2号 —

【発行】
令和4年6月30日
通算 第2号
【発行責任者】
東京都退職校長会
練馬支部
支部長 齋藤 諭

ご長寿おめでとうございます！
白寿二名 米寿三名 喜寿二名
|| 今年度の長寿お祝いの会員 ||

これまで練馬支部では、東京都退職校長会の会則に合わせて、支部においても長寿の会員に対しての祝意を、記念品を贈呈することで表してきました。

対象は、その年度中に十九歳を迎える白寿、十八歳を迎える米寿、七十七歳を迎える喜寿の方々です。

令和四年度は、左下の表に示した通り、白寿二名、米寿三名、喜寿二名をお祝いします。なお、白寿の会員をお祝いするのは三年ぶりのこととなります。

「七名の先生方、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。益々お元気で活躍ください！」

例年、練馬支部では、会員総意の祝意を表すために「長寿・叙勲祝賀会」を石神井公園区民交流センターを会場にして開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、この二年間は中止してきました。

この間、記念品は各地区の理事が記念品に練馬区教育長さんの祝意文を添え、長寿会員のご自宅まで届け

ることで祝賀会に代えて祝意を表してきました。

今年度こそは、新型コロナウイルスが沈静化し「長寿・叙勲祝賀会」を開催できることを心から願っています。

高年齢者叙勲制度

知っていましたか？

ところで、毎年春・秋二回実施される叙勲とは別に、満八十八歳になった国家公共に功績のあった人を叙勲する「高年齢者叙勲」という制度があることをご存知ですか。

令和四年度

長寿お祝いの会員

(敬称略)

- ◇ 白寿 橋本 重夫 (石神井中地区)
- 平野 一男 (大泉東地区)
- ◇ 米寿 藤井 治 (大泉西地区)
- 櫻井 義孝 (開進北地区)
- 沖川 洋 (大泉東地区)
- ◇ 喜寿 大竹 久江 (石神井中地区)
- 西村 陽子 (練馬地区)

東京都退職校長会では、五年に一度名簿を作成し全会員に無償頒布してきました。前回の発行が二〇一七年度でしたから、五年経過した今年度の発行が予定されています。

都の名簿が 有料に！

今回の発行に当たっては、これまでと二つの点で変更があるそうです。

一つ目は、都本部の財政

難から希望者への有償頒布に
なる定です。価格は一冊二千
円とのこと。

二つ目は、各会員の名前の
前に、いわゆる「マ
イナンバー」が付く
ことです。
これは八桁から
なる番号で、練馬
支部では、自身の番号確認の
ためにも、独自に支部名簿を
作成し支部全会員に配付す
ることを考えています。

クラブ員名簿 (敬称略)

- 写真クラブ (8名) …柴和一、遠藤武司、中村澄雄、齋藤諭、富岡義光、宮下忠夫、早川勉、清みどり
- 歩こうクラブ (11名) …◎南雲道幸、加藤良子、岡村幸夫、西村陽子、添田禮子、原雅夫、山口恒人、深町芳弘、大竹久江、河口正治、北鹿渡昭喜
- 囲碁クラブ (5名) …◎原雅夫、鈴木啓一、中村澄雄、宮下忠夫、立谷博美
- カラオケクラブ (3名) …◎田中敬二、梅村勝、原雅夫

(◎ 世話人) いつでも入会可です。

この制度は、最終勤務校所管の教育委員会が、本人の叙勲の意思を内示にて確認し申請する仕組みになっています。ただし、既に春・秋の叙勲で受章された人は対象になりません。

- ① 叙勲候補者リストへの登録が洩れていた。
- ② 登録はされていたが推薦洩れした(候補者死亡と誤認のケースもあり)。
- ③ 教育委員会の担当者が替わったため、制度に精通していなかった。

*今号の「編集後記」は、紙面の都合上割愛しました。

支部だより

— 令和5年度 第1号 —

【発行】
令和5年4月20日
通算 第7号
【発行責任者】
東京都退職校長会
練馬支部
支部長 齋藤 喩

若い世代会員 行動しよう！
支部のために何ができるか
— 組織改革をきっかけとして —

“ And so, my fellow Americans, ask not what your country can do for you. Ask what you can do for your country. ”

………

これは、アメリカ合衆国第三五代大統領ケネディが、大統領就任演説の中で述べた言葉です。

「国が国民に何をしてくれるのかではなく、あなたが国民のために何ができるかを考えてほしい。」とケネディ大統領の言葉の「国」を「支部」に「国民」を「会員」に置き換えてみると、「支部が会員のために何をしてくれるのかではなく、あなたがたが会員が支部のために何ができるかを考えてほしい」となります。

支部組織改革検討委員会の提言により、今年度からこれまで十あった地区が四つに再編されたことをはじめ、練馬支部が新しい第一歩を踏み出しました。

この機会に「自分が支部の活動に何ができるか」を考えてみましょう。理事会が年四回に減った理事の一員として支部の活動を支えるのもよし、五つに増えたクラブのどれかに所属して仲間をつくるのもよし、一日研修に参加して見聞を広めるのもいいでしょう。

平成十五年度練馬支部の会員数は三九九名で、六〇〜七〇歳代は二五一名、約七二%を占めていました。

ところが、昨年（令和四）年度は、会員数九四名に対し二八名、約三〇%と八〇歳代以上の比率がこの二〇年で逆転しています。

また、現在、支部の理事として二一名が支部の活動を支えてくださっていますが、その年齢別内訳は、九〇歳代が六名、八〇歳代も六名、七〇歳代が八名、六〇歳代は一名となっています。

特に、六〇〜七〇歳代のまだまだ動ける会員の方々には、支部の活動に積極的に参加し、その一翼を担うことで会員相互の絆を深めていくことが、支部の活動をさらに活性化していく上で欠かせない基本であると思います。

年会費減額制度について

東京都退職校長会では、満95歳を過ぎた会員に対して、その翌年度から年会費の減額を以下のように実施しています。

- 一般会員 年会費 ￥4000円
(内訳) 都会費 ￥2500円
支部会費 ￥1500円
- 減額会員 年会費 ￥2800円
(内訳) 都会費 ￥1300円
支部会費 ￥1500円

令和5年度練馬支部の減額会員は、昭和3年4月1日以前に生まれた次の会員の方々です。(敬称略)

- 鈴木光夫(練馬) 澤辺寅造(練馬)
- 飯島 敏(練馬) 金森義政(石神井東)
- 本波哲郎(石神井東) 宮澤歳男(石神井中)
- 柴 和一(石神井西) 柳下昭夫(大泉東)

令和五年度 長寿祝賀会員

令和五年度の長寿祝賀会員は、次の方々です。(敬称略)

- 白寿 宮澤 歳男(石神井中)
- 米寿 岩田 幸彦(練馬)
- 喜寿 園田 俊雄(豊玉)
- 寺崎 千秋(練馬)
- 田中 幸伸(大泉西)
- 湯地 和夫(石神井西)

おめでとうございます。米寿の岩田先生は、高齢者叙勲申請の手続きを、誕生日の六か月前までに最終勤務校所管の教育委員会まで。

総会開催のご案内

- 1,日時…5月13日(土) 午後12時30分
- 2,会場…区民交流センター 2階 展示室
- * 返信はがきで出欠の回答を5月8日(月)必着で
- * 入部希望クラブ、近況報告の記入も忘れずに

編集後記

今年度第一号の「支部だより」をお届けしました。原則、理事会の開催される月に発行する予定です。組織改革検討委員会の提言を受けての新しい一年になります。全会員で活動を盛り上げていきましょう。

支部だより

— 令和4年度 第1号 —

【発行】
令和4年4月14日
通算 第1号
【発行責任者】
東京都退職校長会
練馬支部
支部長 齋藤 諭

設置決定！

「支部組織改革検討委員会」

「今年度一年間でまとめへ」

三月十日に開催された令和三年度最後の理事会で、令和四年度の一年間をかけた支部組織の改革を進めるための委員会を設置することが決まりました。

それを受けて、三月二十五日の役員会で、次の三点を確認しました。

(一) 委員会の名称を「支部組織改革検討委員会」とする。

(二) 委員会の委員には、現役員を充てる。

(三) 第一回委員会を、五月二十三日(月)午後二時から、石神井公園区民交流センター会議室2で開催する。

新型コロナウイルスの影響でこの二年間、支部の活動の殆どが滞りました。その間、体調不良等の理由により常任理事や理事の中にも退会される方がお出になられ、その後補充もままならない状況になっています。

この状況を改善し、支部の活動を維持・充実していくための組織の在り方を検討することを目的として、この委員会を設置することにしました。

現在の支部組織の課題を挙げて整理し、課題解決への方向性を明らかにして、その具体策を検討します。また、それらをまとめたいものを、中間まとめとして理事会に提示して意見を募っていきます。組織改革に伴う規約改定案と併せて、遅くとも二月の理事会には提案していく予定です。

支部組織改革検討委員会委員名簿

委員長	齋藤 諭
庶務	富岡 義光
記録	原 添田 雅子
	大竹 久江
	梅村 恒人
	山口 和夫
	湯地 澄雄
	中村 澄雄

令和四年度のスタートに当たり、残念なことがありますが、それは、練馬支部の会員数が九十七名と、百名を切ってしまうことです。

支部会員数 百名を切る

過去の多い時には四百名を超えていたこともあったと、先輩の会員から聞いた

ことがありました。今年度の新入会員数は、今のところ定かではありませんが、会員の力を結集して、会員増を目指しましょう。既に退職していても未加入の仲間が区内にはたくさんいます。知っている方に一声かけて入会を勧めてみましょう！

年會費減額制度

東京都退職校長会では、一定の条件のもとで、年會費の減額を実施しています。現在の年會費額は四千元で、内訳は都會費二千五百円、支部會費千五百円となっています。

満九十五歳を過ぎた翌年度から、都會費が千三百円に減額され、支部會費と合わせた徴収額は二千八百円になります。

- 今年度の該当会員は次の九名の方です。(敬称略)
- 鈴木光夫(練馬地区)
 - 澤辺寅造(練馬地区)
 - 飯島 敏(練馬地区)
 - 金森義政(石東地区)
 - 橋本重夫(石中地区)
 - 宮澤歳男(石中地区)
 - 武田圭喜(石中地区)
 - 杉森弘伴(石西地区)
 - 平野一男(大東地区)

令和四年度

総会開催のご案内

今年度の総会は、左記の通りに開催予定です。

○日時 六月四日(土) 午後二時

○会場 区民交流センター

詳細は、別紙ご案内をご覧ください。

編集後記

「支部だより第1号」をお届けしました。予算の関係もあり、「支部会報」は年一回の発行となることから、不定期ではありますが、会員の方々の情報発信として、今年度から新たな取り組みとして開始しました。ご愛読の程をよろしくお願ひします。

支部だより

— 令和5年度 第3号 —

【発行】
令和5年10月12日
通算 第9号
【発行責任者】
東京都退職校長会
練馬支部
支部長 添田 禮子

事業部が新規事業を来年三月開催！ 「練馬支部退職校長会作品展」

|| 今から出展の準備を！ ||

事業部が、新しい事業を計画しています。その名も「練馬支部退職校長会作品展(仮称)」です。

昨年度、事業部が新規クラブを募集した中に「作品展クラブ」という希望がありました。それを発展した形で実現しようというものです。現在、上村文輝新事業部長が詳細な案を練っています。

① 目的は、会員相互が特技、趣味などの成果を発表する場として絵画、彫刻、工芸、書及び写真などの作品を募集して展示し、会員相互の交流や親睦を深める。

② 展示期間は、令和六年三月一日(金)～十五日(金)の十五日間
③ 展示会場は、練馬区立石神井公園区民交流センター

という素案が示されています。昨年度に「支部改革検討委員会」が一年間かけて協議して地区の再編等が行われ、広報部からは、昨年度から業者委託のために年一回の発行になった「支部会報

」を補うためにこの「支部だより」が発行されたのに続き、事業部による新しい活動です。

いずれも支部の活動が、より一層活発になり、会員相互の繋がりを強めていきたいという願いからの工夫となっています。

練馬支部の会員の中には、いろいろな特技や趣味をお持ちの方々が大勢いらっしゃることは、理事会の時々開催される「ミニ講演会」や、年一回発行される「支部会報増刊号プラス1」の内容からもうかがい知れます。詳細は、二月の理事会で示され、応募の方法などについて

— 長寿叙勲祝賀会 十二月二日(土)に開催 — 多くの会員の参加で祝いましょう！

今年度の「長寿叙勲祝賀会」は、十二月二日(土)に石神井公園区民交流センターで午後一時から開催されます。本日配付された開催案内をご覧いただき、一緒に配付された返信はがきにて、出欠のご回答をお寄せください。祝賀対象の会員は、以下の八名です(敬称略)。

退職から年月を重ね、外出することも現職だった頃より少なくなりました。そういふ方にこそ「きょうい」と「きょうよう」が必要だとされています。

「きょうい」

「きょうい」と言っても「教育」ではありません。「きょうよう」と言っても「教育」ではありません。「きょうい」とは「今日行く所」、「きょうよう」とは「今日の用事」ということです。外出の機会が減った高齢者にとっては、自らが「行く所」や

「きょうよう」

「用事」を作って出かけることが大事だということです。地域の敬老館でストレッチ体操する、趣味の絵手紙教室に参加する、評判の映画を鑑賞に行く、鼻肩のチームの応援に野球場へ行く、支部のクラブ活動や行事に参加する…。

「きょうい」とは「今日行く所」、「きょうよう」とは「今日の用事」ということです。外出の機会が減った高齢者にとっては、自らが「行く所」や

何がやれるか、どの程度やれるか、いつならやれるか…。自分の体力等とも相談して「きょうい」と「きょうよう」の計画・実践を是非！

て全会員に「お知らせ」が届くことになっています。我こそはと思う会員各位は、この四か月でその準備に全力を尽くしましょう。事業部では、多くの会員からの応募をお待ちしているのとことです。どんな作品が揃うのか期待しましょう！

支部一日研修のご案内

- 日時 11月9日・木 13時～16時
- 場所 石神井公園ふ室文化会館分室
- テーマ 「練馬区ゆかりの文化人」
- *詳細 本日配付のご案内が

編集後記

小学生の頃「夏休みの勉強は涼しい内の十時までにはやりましょう。」と担任の先生から指導いただいた記憶がある。しかし、七十年後の今夏は国連事務総長に「地球沸騰」と言われた猛暑であった。今の小学生たちが我々の年齢になった時のこの地球について、真剣に考えるタイムリミットが来ているのは間違いない！

☆瑞宝双光章

- 白寿 深町芳弘(光が丘)
- 米寿 白石求生(練馬)
- 喜寿 宮澤歳男(石神井)
- 喜寿 岩田幸彦(光が丘)
- 喜寿 園田俊雄(練馬)
- 喜寿 寺崎千秋(光が丘)
- 喜寿 田中幸伸(大泉)
- 喜寿 湯地和夫(石神井)

おめでとございます！